

令和 8 年 6 月 4 日
国土交通省九州地方整備局
熊本河川国道事務所

「水害版企業 BCP」作成マニュアルを公表

～水害リスク情報を企業活用へ～

水災害発生時において、被害の軽減および早期の事業再開を目的とした事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の作成促進のために、「水害版企業 BCP」作成マニュアルを作成しました。

本マニュアルでは、「基本シート」を活用した4ステップ（①洪水時に発生する重大な被害を予想、②被害に対し、何を優先的にやるべきか考える（重要な対応）③誰がやるか決める（役割分担）④いつするか決める（タイミング））で作成でき、タイムライン形式で見える化することが可能であり、以下のことが期待できます。

- ・ かけがえのない従業員や顧客の命を守ることができる
- ・ 被害拡大の抑制や早期復旧ができる
- ・ 被災後、周辺地域に早期にサービスを提供することができる
- ・ 企業の価値向上や社会貢献が期待できる

流域市町村等と連携し企業への普及を図っていくなど、流域治水プロジェクトの三本柱の一つである「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」の取り組みを推進していきます。

○ 水害版企業 BCP 作成マニュアルについては、こちらに掲載しています。

URL：https://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/site_files/file/river/ryuiki_chisui/suigaiBCPM.pdf



※マニュアルの概要をチラシにまとめましたので、別紙「水害版企業 BCP 作成マニュアル」をご確認ください。

※水害版企業 BCP 策定支援の取り組みとして、令和 6 年度に「コストコホールセール株式会社熊本御船倉庫店」、令和 7 年度に「株式会社鶴屋百貨店」に水害版企業 BCP 策定支援を行いました。その実績も踏まえ本マニュアルとしてとりまとめを行いました。

○ Web 型 AR ツール「FloodAR(フラッター)～ここ浸かるばい AR～」について

Flood（洪水）と AR（拡張現実）で、フラッターと名付けました。

洪水浸水想定区域図などの水害リスク情報の活用を促進するため、水害リスクを見える化する取組として、浸水深さを任意で設定し、スマートフォン等のカメラで、視覚的に浸水状況が確認できる Web 型 AR ツールを作成しました。



URL：<https://app.ctigp.jp/FloodAR/>

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

技術副所長 : 鳥井 譲太

流域治水課長 : 河東 立

専門官 : 宮崎 純志

TEL：096-382-1111（代表）、TEL：096-382-1132（直通）

『水害版企業BCP』作成マニュアル

～4ステップで出来る！あなたの会社と従業員や顧客を守る計画～

こんなお悩み
ありませんか??

水害時にはどんな対策をすれば良いんだろう…

被害のイメージが湧かないなあ…



水害版のBCPが無いと困るなあ…



水害版のBCPを作るのは大変そう…

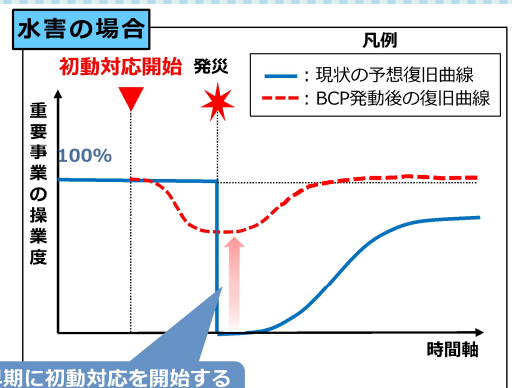


そのお悩み「水害版企業BCP作成マニュアル」を使って解決しませんか？

役に立つ！

※マニュアルは熊本河川国道事務所HPIにあります。(裏面を参照)

- 水害版BCPを作成することで、従業員や顧客が危険な状況に陥る前に行動でき、命を守ることができます。
- また、被災による事業停止レベルを軽減でき、早期に事業の復旧を見込めます。
- さらに、いつ頃豪雨が来そうか、水位が上がってくるということが、前もって情報で分かるため、発災前から初動対応に取り組めるという点もポイントになります。



企業の事業復旧に対するBCP導入効果のイメージ
(参考:水害対応版BCP作成のポイント、国土技術研究センター)

わかりやすく簡単！

- 作成手順が4ステップに集約されており、限られた時間で取り組むことができます。
- 業種別の基本シートを活用し、項目を埋めていくだけでタイムライン形式のBCPを完成させることができます。

4ステップで出来る！基本シートによる水災害版BCPの作り方

会社名	〇〇製菓	想定される浸水深	50年に一度 1~2m 10年に一度 浸水なし	災害対応の基本方針	●工場機械による怪我ゼロ
住所	鹿児島市〇〇				



重要業務	ステップ1		ステップ2		ステップ3	ステップ4				
	想定される被害	重要な対応	具体的な対応内容	担当者	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	
情報収集	-	災害情報の入手	情報収集する	店長						
人的被害	従業員の被害 来店客の被害	営業中止の判断	営業中断を判断する 避難放送、避難誘導	各部長 対応係						
機器の被害	PCの浸水	情報PCの移動	PCを高所に移動	販売係						

基本シート(抜粋)

水害版企業BCP作成のメリット

【事業継続力強化計画制度の活用】

事業継続力強化計画制度とは、中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を、経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度のことで、

この制度は2019年7月から開始されており、認定を受けた中小企業は税制措置や金融支援、補助金の加点などの措置が受けられます。

・事業継続力強化計画認定制度の概要：



認定を受けた企業に対する支援策

- ロゴマークの活用 (HPや名刺等で認定のPRが可能)
- 低利融資等の金融支援
- 防災・減災設備に対する税制措置
- 補助金の加点措置
- 中小企業庁HPでの認定企業公表



水害版企業BCPマニュアルの内容

【浸水状況を可視化】

本マニュアルでは、ARツールを活用することで、水害が発生した際にどのような浸水が生じるかを、リアルタイム映像(現実風景)として確認することができます。

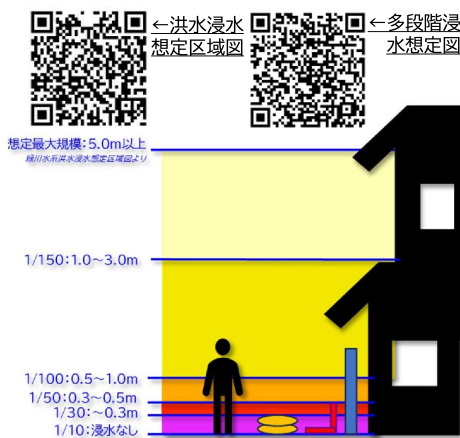
『FloodAR(フラッター) ~ここつかるばいAR~』
(Web型浸水ARツール) →



水害時のリアルタイム映像例

【浸水深の確認】

洪水浸水想定区域図や多段階浸水想定図を活用し、企業がある場所での降雨規模ごとの浸水深を図のように整理します。



想定される浸水深の例

【必要物資の抽出】

洪水時に起こり得る必要物資の不足について、具体的な検討手順を記載しています。対策の目標を設定することで、それに対応できるような物資と数量を検討します。



必要物資の例(土のう、止水板)

水害版企業BCP作成マニュアルへのアクセス

①熊本河川国道事務所HPにアクセスし、「水害版企業BCP作成マニュアル」のバナーをクリックしてください。



クリック

②水害版企業BCPマニュアルが表示されます
(https://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/site_files/file/river/ryuuki_chisui/suigaiBCPM.pdf)。

水害版企業BCP作成マニュアル 検索

二次元
バーコード ▶



水害版企業BCP作成マニュアル改善のためのアンケート

問い合わせ先

マニュアル改善のためのアンケートを実施しています。
アンケートへのご協力をお願いいたします。
※所要時間は5分程度です。

【アンケートURL】

<https://forms.office.com/r/zsqfVbn5YZ>

【アンケート二次元コード】



熊本河川国道事務所
流域治水課
水防企画係
096-383-1132



水害版企業BCP作成マニュアルの概要

- 水災害発生時において、社員やその家族、ならびに顧客の命を守るとともに、被害の軽減および早期の事業再開を目的とした事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の作成促進のために、「水害版企業BCP」作成マニュアルを作成しました。
- 本マニュアルでは、「基本シート」を活用した4ステップ（①洪水時に発生する重大な被害を予想、②被害に対し、何を優先的にやるべきか考える（重要な対応）③誰がやるか決める（役割分担）④いつするか決める（タイミング））で作成でき、タイムライン形式で見える化することが可能です。
- 流域市町村等と連携し企業への普及を図っていくなど、流域治水（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）の取り組みを推進していきます。
- 熊本河川国道事務所HPにて、公表しています。
（ https://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/site_files/file/river/ryuuki_chisui/suigaiBCPM.pdf ）



4ステップで出来る！基本シートによる水災害版BCPの作り方

ケース	種別	ステップ1 洪水時に発生する重大な被害を予想		ステップ2 被害に対し、何を優先的にやるべきか考える（重要な対応）		ステップ3 だれがやるか決める（役割分担）		ステップ4 いつするか決める（タイミング）				
		想定される被害 対象とする洪水規模	被害内容	重要な対応	事前対策	事後対策	担当者	対策を実施するタイミング(浸水発生前)				
就業停止の目的 就業時間中の対応	情報収集	—	—	災害情報の入手	情報入手手段を決めておく	ラジオインターネットで情報収集する	〇〇店長 (副:〇〇副店長)	警戒レベル1 (以前の心構えを定める)	警戒レベル2 (避難行動を確認する)	警戒レベル3 (避難等の必要)	警戒レベル4 (避難が必要)	対策を実施するタイミング(浸水発生後)
	人的被害関連	想定最大	従業員の被害	営業中止の判断	営業中止基準を決めておく	営業中止を判断する	〇〇店長 (副:〇〇副店長)					浸水発生直後~1日
	情報収集	—	—	災害情報の入手	情報入手手段を決めておく	ラジオインターネットで情報収集する	〇〇店長 (副:〇〇副店長)					1日~1週間
	人的被害関連	想定最大	従業員の被害	営業中断の判断	営業中断基準を決めておく	営業中断を判断する	〇〇店長 (副:〇〇副店長)					2週間以上
就業時間中の対応	人的被害関連	想定最大	従業員への被害	従業員への被害	避難場所・避難ルート・避難誘導体制を決めておく	店内従業員に避難誘導を行う	総務課〇〇,〇〇 (副:〇〇,〇〇)					
	人的被害関連	想定最大	来店客への被害	来店客への被害	来店客への被害	来店客に避難誘導を行う	総務課〇〇,〇〇 (副:〇〇,〇〇)					
	屋外の被害(家屋・車・雨・外物落下・周辺道路等)関連	1/30 降雨規模	店舗の浸水	建物への被害	建物への被害	土のうを準備する	総務課〇〇,〇〇 (副:〇〇,〇〇)					
	ライフライン・情報機器の被害関連	1/30 降雨規模	電源の浸水	電源への被害	電源への被害	電源の配線に土のうを積む	食品販売係〇〇, 総務課係〇〇, 電気製品係〇〇(副:〇〇, 〇〇)					
屋内の被害(各商品・店舗)の被害関連	1/30 降雨規模	商品の浸水	商品への被害	商品への被害	商品の配りに土のうを積む	食品販売係〇〇, 総務課係〇〇, 電気製品係〇〇(副:〇〇, 〇〇)						
	1/30 降雨規模	商品の浸水	商品への被害	商品への被害	商品の配りに土のうを積む	食品販売係〇〇, 総務課係〇〇, 電気製品係〇〇(副:〇〇, 〇〇)						

担当者が不在の場合も想定し、副担当者の枠も明記

想定最大又は設定した規模の洪水に対し、想定される被害の内訳を記載

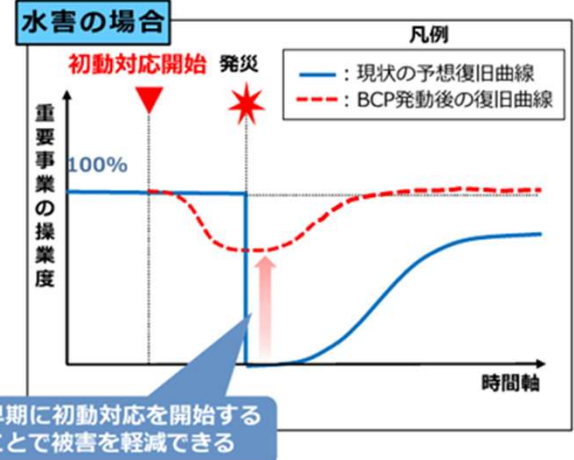
まず、基本的な対応の方向性を「重要な対応」として整理⇒具体的な対応内容を記載

対応事項について、実施すべきタイミングのセルを着色

◆BCPを作成するメリット（一部）

①導入効果

- ★BCPを策定することで
 - ・かけがえのない従業員や顧客の命を守ることができる
 - ・被害拡大の抑制や早期復旧ができる
 - ・被災後、周辺地域に早期にサービスを提供することができる
 - ・企業の価値向上や社会貢献が期待できる



②作成した企業の方の声

- BCPを作成することで、水害時に何をすべきかが明確になった。
- 皆で話し合い、整理することで、水害時の課題を具体的に認識できた。
- 実際の出水時に出社停止を判断でき、従業員の安全確保につながった。